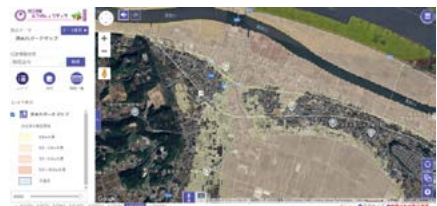


洪水ハザードマップ

災害時に河川が増水・氾濫した際の浸水想定区域や浸水の深さを確認することができます。



土砂災害ハザードマップ

地形や地質情報、降雨パターンなどを考慮し、土砂災害(地すべりや斜面崩壊、土石流など)が発生する可能性がある区域を特定します。



ため池ハザードマップ

自身や災害などによる災害でため池が決壊した際の浸水想定区域や浸水の深さを確認することができます。



■おでかけ号ルートマップ

GIS導入前

運行ルートマップが無く、乗車するバスがどこに行くかを時刻表で判断するしかありませんでした。

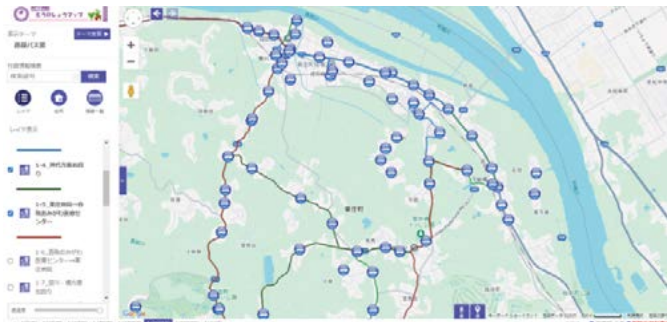
また、バス停留所を地図上に示したものが無かったため、停留所の場所を知りたい場合は、自分で探しか役場に聞かしかありませんでした。



▲おでかけ号ルートマップ

GIS導入後

近くのバス停の場所、そのバス停から利用できるルートなどを地図上でわかりやすく見ることができるようになりました。複数ルートを比較できるため最適なルートの検討に使うことができます。



▲おでかけ号バス停の一覧



■その他のマップデータ

GIS導入前

家を建てる時に参考としたい都市計画基本図や水道管網図などを見る必要がありますが、役場に来庁しなければ閲覧できませんでした。

GIS導入後

都市計画図や水道管網図などをインターネット上で閲覧できるようになりました。ご自身のPCやスマートフォンで閲覧できます。自宅で事前に情報を確認できるようになるため、窓口で目的の場所を探す手間が省けます。

※地図精度上の誤差などがあるため、正確な情報が必要な場合は、窓口でご確認ください。



▲アンケート

今後も、住民の皆さまに役立つ情報を公開型GISへ追加登載予定です。今後のマップ追加の参考のため、「とうのしょうマップ」をご利用いただきました皆さまにおかれましては、利用者アンケートへのご協力をお願いいたします。

アンケートへのご回答は、町ホームページの「とうのしょうマップ利用者アンケート」ページまたは、右記のQRコードよりご回答をお願いします。

総務課 DX推進係 ☎86-6087



DXとはデジタル技術を活用して、人々の生活を豊かにすることです。

町では、町民の皆さまへ、効率的で利便性の高い行政サービスの提供ができるよう、さまざまな計画を策定し、取り組んでいます。

DX推進系の取り組みを紹介します。



①押印廃止の取り組みについて

行政手続きでの町民の負担軽減や効率的な行政運営の推進のため、押印が必要な行政手続きについて一部を除き押印を廃止します。町民の皆さまが行う手続きでの押印が不要になるとともに、町からの通知などでも公印を省略することとします。

また、押印廃止にむけ、不正防止の観点から、本人確認の厳格化を図り、なりすましなどのリスク軽減にも取り組みます。

住民などの押印が必要な行政手続き 831件
うち押印を廃止する行政手続き 714件

85.9%の手続きで押印廃止！

【押印を廃止する手続き例】

各種補助金交付申請、こども医療費交付申請 など
※上記以外の手続きでも押印が廃止となっております。手続きの際に担当窓口にご確認ください。

【押印廃止の例外】

- 国や県で定める手続き
- 手続きの趣旨から押印が必要となるもの

例) 住民などの押印については、契約書や委任状、承諾書など
公印については、納税通知書や権利を制限するもの
※国や県が定める手続きについても、国や県の方針に基づき押印の廃止を進めていきます。

②公開型GISサービス「とうのしょうマップ」について

3月1日より公開型GISサービス「とうのしょうマップ」を公開しています。

公開型GISとは

GIS[Geographic Information System]は地理情報システムの略称です。

公開型GISは町の保有する地図情報を視覚的にわかりやすく表示された状態で、インターネットを通じて、皆さまに公開するサービスです。



とうのしょうマップQRコード▶

どんな情報が見られるようになって、どう便利になるの？

■デジタルハザードマップ

GIS導入前

自分がどこにいるのかを把握したうえで、紙やPDFデータのハザードマップで現在の場所が危険なのか判断しなければなりません。土地勘のない場合や、夜間や悪天候時などの視界不良により自分の現在地がわからないかもしれません。

また、ハザードマップが古い可能性もあります。

GIS導入後

最新情報にアクセスが可能になり、位置情報により現在地の表示が可能なので、誰でも、どんな状況でも、今いる場所が危険なのか、一番近い避難所はどこか、などをすぐに知ることができるようになりました。